

旭区今宿地区の実証運行における 代替車両の利用について

横浜市 都市整備局 地域交通推進課

検討経緯

- R2.4 地域まちづくり活動グループ登録し、地域交通サポート事業として地域とともに検討を開始（今宿周辺にミニバスを実現させる会）
- R2.12 移動動向アンケート実施
- R3.12 バス事業者が協力事業者となり、検討に加わる
- R4.1 バス停位置について、地域内の調整を開始
- R4.5 運行計画案について、道路管理者・交通管理者との調整を開始
- R6.6 協力事業者が運転手不足を理由に検討から撤退
→協力事業者を再度募集
- R6.10 日本交通横浜(株)が協力事業者となり、検討を再開
- R6.12 **R6年度第3回地域公共交通会議に附議**
- R7.6 **新車のワゴン型車両の調達が困難になったため、中古に切り替えて車両調達を進める**
- R7.11 **実証運行開始(予定)**
※運行車両(ワゴン型車両 6～10名乗り)の調達が間に合わない場合は、調達できるまでの期間、代替車両により運行

運行計画

計画は今後変更となる可能性があります ※赤字：令和6年度第3回会議からの変更箇所

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

運賃	大人300円、小児150円（敬老パスを所持している人150円） （大人1名につき未就学児2名まで無料）
運行開始	令和7年11月以降
運行日	平日週5日（土休日及び年末年始は運休）
運行時間帯	午前9時台～午後4時台（8時間）
運行便数	10.5便/日
運行区間・停留所	三ツ境駅～希望ヶ丘駅～三ツ境駅（循環）・13か所
所要時間	約35分/便
運行事業者・運行車両	日本交通横浜株式会社・ワゴン型車両1台（乗員乗客6～10名） <u>上記運行車両が調達できるまでの期間及び車両修理期間は代替車両により運行</u>
実証期間	2年間（運行状況により1年延長）
事業の許可	道路運送法第21条による乗合旅客運送（路線定期運行）
想定運行費用	約1,100万円/年※ ※1台当たり
目標収支率（1年目）	25%以上
本市新制度補助額（1年目）	運行費用に対する赤字額全額補助 ※車両費等は別途補助

代替車両イメージ(暫定運行)

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA



日本交通(株)にて実際に運行している車両(乗車定員 5 名)
※画像は日本交通(株)HPより

実証運行の開始にワゴン型車両の調達が間に合わない場合、調達できるまでの暫定措置として、日本交通横浜(株)が保有する車両(乗車定員 5 名)等の代替車両を用いて運行します。(最大 2 台運行)

※代替車両で運行する際は、ワゴン型車両と比較して乗客が乗り切れない可能性があります。その場合は、利用者の方々に対して丁寧な説明を行うとともに、乗車状況を含めた利用実績をホームページ等で適宜お知らせすることで、ご理解・ご協力を求めています。

スケジュール及び効果検証

令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
▼ 7/30 第 2 回地域公共交通会議 21条申請 停留所設置 ワゴン型車両調達（未定） ▼ 11月以降 実証運行開始（1 年目）	▼ 11月以降 実証運行開始（2 年目）	
実証運行（ワゴン型車両の調達が間に合わない場合、 調達できるまでの期間は代替車両により運行）		
	アンケート 効果検証	アンケート 効果検証

主な効果検証内容（予定）	把握方法
地域に適した運行内容となっているか（運行計画の改善に向けた検証）	利用実績データ及びアンケート調査
地域住民の外出頻度、マイカー利用頻度、移動手段の変化等	アンケート調査

※アンケート調査は、利用者だけでなく未利用者も対象